

議 事 録

議 題	令和2年度 第1回羽生市地域公共交通会議
日 時	令和2年9月29日(火) 午後1時30分開会・午後2時40分閉会
場 所	羽生市役所301会議室
役 員	会長(議長): 甲山 浩 副会長: 川田房雄
出席者 【出席者数】	田沼健一 委員 増田建夫 委員 田倉貴弥 委員(代理: 工藤裕幸) 川田房雄 委員 青木宏之 委員 小川幸一 委員 広井 智 委員 亀屋信正 委員 藤本典嗣 委員 伊藤太佳博委員 甲山 浩 委員 宇都木一男 委員 立花孝夫 委員 【計13名】
事務局	〈総務部〉 地域振興課 課長 関根章典 課長補佐兼係長 五月女和則 〈企画財務部〉 企画課 課長 鈴木日出夫 課長補佐兼係長 佐藤康夫 主事 田邊達志
作成日	令和2年9月30日(水)
議 事 内 容	
<p>1 開 会</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 あいさつ</p> <p>4 委員及び事務局の紹介</p> <p>5 役員を選任について</p> <p style="padding-left: 2em;">羽生市地域公共交通会議要綱第7条に基づき、会長は甲山浩委員(羽生市副市長)、会長の指名により、副会長には川田房雄委員(羽生市自治会連合会 常任理事)が選任された。</p> <p>6 議 事</p> <p>(1) 羽生市の公共交通に関する市民アンケート調査結果について(資料1~3)</p> <p>(2) 羽生市における公共交通の現状及び今後の方針について(資料4~7)</p> <p>7 その他</p> <p>8 閉 会</p> <p>【協議結果について(要点筆記)】</p> <p>議題(1)について、異議なく承認された。なお、質疑応答は以下のとおり。</p> <p>(委員) 資料2の管理番号における黒塗りは何を意味しているのか。</p> <p>(事務局) アンケート実施方法(郵送分、バス利用者分)を表わしており、黒塗りされているものは、バス利用者からの回答分である。</p>	

議題（２）について、異議なく承認された。なお、質疑応答は以下のとおり。

（委員）コロナ渦においては、接触防止の観点が必要となる。現在、あい・あいバスでは電子マネーが導入されていないようだが、デマンド交通の導入に際して、電子マネーの導入は考えているのか。また、その費用については、特別交付税の対象となるのか。

（事務局）現在、あい・あいバスは現金及び回数券のみで対応している。デマンド交通導入に際しては、電子マネー等の導入を今後検討していきたい。その費用は特別交付税の対象となる見込みである。

（委員）過去５年間の免許返納者は、年々増加している。平成２７年（男性）６９名、（女性）６２名で計１２１名。平成２８年は１４７名、平成２９年は１６９名、平成３０年は１８５名、令和元年は２３８名である。

今後も高齢化が進むにつれ、免許返納者も増加することが予想される。また、停留所まで移動することが困難な方にとっても、デマンド交通の導入は必要だと考える。

（事務局）市内において高齢者の交通事故が増加しており、現在は特別地区に指定されている。高齢者等の事故防止の観点からも、デマンド交通の導入は有効であると考えている。また、停留所に行けない方への対応についても、デマンド交通は有効であると考えている。

（委員）あい・あいバスの年間利用者数は平成２８年度から３０年度まで、増加している。令和元年度は減少しているが、潜在的ニーズはあると考える。

バス停の増設及び廃止、ルート改善など、定期的な見直しの必要があるだろう。アンケート調査結果を参考にしながら、検討を進めてほしい。

（事務局）平成２９年度は、自治会長の意見を参考にバス停を５か所増設した。また、平成３０年度は、羽生総合病院新病院の開業に伴い、バス停を新設した。今後も運行事業者や自治会長等の意見を参考にしながら、ルートの見直し等の検討を進めていきたい。

（委員）羽生市としては乗合型のデマンド交通導入を検討しているようだが、新型コロナウイルス感染症の状況下、利用者はどう感じるだろうか。

（事務局）新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、導入時期等について検討していきたいと考えている。現時点では、大きめの車両を使用するなど、密を作らない方法を模索している。

次回以降の会議では、導入に関する具体的な計画を提示していく。